

衆議院外務委員会ニュース

平成 23.8.24 第 177 回国会第 17 号

8 月 24 日（水）、第 17 回の委員会が開かれました。

1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。

理事 赤松正雄君（公明）（理事の稲津久君去る 8 月 17 日委員辞任につきその補欠）

2 原子力の平和的利用における協力のための日本国政府とヨルダン・ハシェミット王国政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 14 号）（参議院送付）

- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。
- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）社団法人日本原子力産業協会理事長 服部拓也君
国際環境経済研究所所長 澤昭裕君
元日本原子力研究所研究員 青柳長紀君
「環境・持続社会」研究センター理事 田辺有輝君

（質疑者及び主な質疑内容）

阪口直人君（民主）

- ・ヨルダンの原発建設予定地のマジダルは、冷却水の確保が困難な乾燥地帯であり、地震のリスクやテロの危険性を考えると立地について見直すか或いは相当な対策を講じるべきであると思うが、田辺参考人の所見を伺いたい。
- ・ヨルダンの原発建設予定地については、我が国の責任として、より安全な場所に変更するようヨルダンに対して働きかけるべきだと考えるが、服部参考人の所見を伺いたい。
- ・我が国が輸出する原発の事故発生における損害賠償の在り方と原子力損害賠償に関する国際条約の加盟について青柳参考人はどのように考えるか。

秋葉賢也君（自民）

- ・福島第一原発事故の原因の調査や同事故を踏まえた我が国の国際的な原子力協力の在り方について、国内で結論が出ていない中で、他国との原子力協定をどのように進めるべきだと各参考人は考えるか。
- ・福島第一原発事故の原因究明にあたる調査機関として事故調査・検証委員会が政府内に設置されているが、行政からの独立性を確保するために調査委員会を国会に設置すべきであると思うが各参考人の所見を伺いたい。

赤松正雄君（公明）

- ・田辺参考人がヨルダンへの原発輸出に関して指摘した問題点が解決されれば、同参考人は原発輸出を行って良いと考

えるか。

- ・ヨルダンにおいて、原子力が軍事転用される危険性に関し服部参考人はどのように考えるか。
- ・各参考人は原発に関して、直ちに全ての原発の稼働を停止する「脱原発依存型」、時間をかけてゼロに向けて減らしていく「段階的原発依存解消」、原発の役割は一定程度認め、他のエネルギーとの厳密な棲み分けをする「棲み分け原発依存」、安全対策を徹底した上で、原発の新規着工にも取り組む「安全留意型原発依存」のどの立場をとっているか。

笠井亮君（共産）

- ・原子力の分野に長年携わってきた服部参考人は、福島第一原発事故の現状をどのように受け止めているか。
- ・福島第一原発事故を踏まえ、原発事故のリスク及びコストについて澤参考人はどのように考えるか。
- ・原子力協定を審議する際に、福島第一原発事故を踏まえ国会としてどのような事項を考慮しなければならないかと青柳参考人は考えるか。

服部良一君（社民）

- ・ヨルダンでの福島第一原発事故の受け止められ方について田辺参考人の見解を伺いたい。
- ・乾燥地帯であるヨルダンの原発建設予定地において、冷却水を安定的に確保できるとの服部参考人の見解は、福島第

- 一原発事故を受け止めての見解か。
- ・ヨルダンで原発が稼働した場合における使用済核燃料処理の選択肢について各参考人の所見を伺いたい。